



↑小中学校のお米博士（晃匡くん）が、今回植えたお米「天のつぶ」についてみんなの前で発表してくれました。

5月12日に貝泊の田んぼを使って田人小中学校と連携をして稲作授業を行いました。天候にも恵まれ、全校生徒44名が、貝泊コイコイ倶楽部さんの支援と指導を頂きながら一所懸命に田植えを行いました。初めて田んぼに入る子どもも多く、素足で入ったため泥の感触に驚き、足が抜けなくなるなど、大はしゃぎでした。一所懸命に田植えを行ってくれたため、予定していた以上の範囲を植えることができました。ご協力を頂いた貝泊の皆様、本当にありがとうございます！

**田人小中学校と連携
稲作授業始めました！**



人生初の地鎮式
助けて頂きながら
無事に終えました。
本当にありがとうございます。



田人ワークキャンプ・ビレッジの拠点建設にあたり、5月19日に地鎮祭を行いました！霧雨が降る中ではありますが、田人里山再生委員会の皆さんや、高松集落の皆さんにお越しいただき無事に終わることができました。6月の中旬から建設に入ります。皆さん近くを通った際は是非寄ってみてください！

田人ワークキャンプ・ビレッジ地鎮祭



琴水チャンネル

田人ブース作りました！

いわき市の鹿島ショッピング

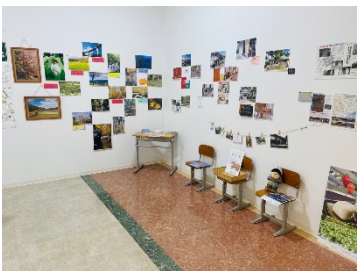
センターエブリアさんで遠野和紙の販売や展示に使っていたスペースを少し譲って頂いて、田人ブース作らせて頂きました。田人のマップ、四季折々の風景写真、観光スポット、更に私たち地域おこし協力隊の活動についても掲示させて頂きました！田人はもちろん遠野や川前、小川、三和の中山間地域の情報も詰まっています。地域の方々にも沢山協力して頂きました。本当にありがとうございます。機会がございましたら、ぜひ足を運んでみてください。6月末まで展示予定です！

会場・エブリア2階 南催事場
住所・いわき市鹿島町米田

営業時間・10時～20時
土日渡5



田人ブースは学校風になりました！



ひとつたび2周年！

いつも古民家カフェひとつ

たびを支えて頂きありがとうございます。5月15日（土）でひとつたびは2周年を迎えました。沢山の人のバトンを受け取って、今私の活動拠点のひとつたびになっていること、将来のひとつたびを考える立場に置かせてもらっていることに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。これからも沢山の想いが詰まったバトンを持って走り続けます！

立ち寄ってくれる地域の方々、遠方から足を運んで下さるお客様、地域おこし協力隊を含む一緒に働くスタッフとの時間が私は心の底から大好きです。そんな環境にすることが幸せだなと日々感じています。営業日はひとつたびにいますので是非是非遊びにいらしてください♡楽しみに待っています！

テイクアウトメニュー
表作成しました！



友子さんと一緒に
メニュー開発しま
した♪



よっしーの たびと探し



授業づくりにも、参加させていただいています！

「たびと学」

皆さんはこの授業が田人中学校で行われていることをご存じでしょうか。田人小中学校が平成28年にコミュニティスクールとして指定を受けて始まった授業です。学校、地域の関係者で構成された「学校運営委員会」が中心となり、田人の地域性を絡めた授業として田人のこんにゃく・自然薯づくりや林業体験を子どもたちが行っています。それに加え、今年も学年ごとのテーマを通して田人と自分について考える授業を実施します。

僕の役目は学校側の要望に合わせて田人の皆さんや場所を紹介する事です！自分はまだまだ田人初心者ですが、そんな僕でも子どもたちが田人を知り、田人を考える機会を作りたいと思います。子どもに伝えていきたいです。子どもたちが将来田人を離れてしまった時にも、ふと地元を思い出せるような経験を沢山積んでもらいたいと強く思います。

一年生は「防災」がテーマ

いわき市では東日本大震災の1か月後に震度6弱の余震が起こりました。当時田人では塩ノ平に正断層が出現し、世界的にも貴重な資料として市の指定天然記念物（地質）になっていきます。こういった田人の歴史はこれからの災害を考えるためにも語り継ぐ意味があります。田人に起こりうる災害と必要な防災、被災時の行動を考えます。

二年生は「職業」がテーマ

二年生は、講話と職場体験を通して仕事と田人について考えます。ずっと田人で働いている方や田人に来て働く方など様々な関わり方をインタビューし、実際の職場体験を通して自分の生き方と田人との関わり方を考えます。

三年生は「田人のためにできること」がテーマ

三年生は旧田人中学校の再利用について考えます。自分たちのやりたい事、できる事と、地域の学校に対する想いを受け止めながら「自分だったらなにをするか」「田人に必要なモノ・コトとはなにか」を考え、プロジェクトをつくりまします。



このコラムは、田人の住民を、楽しく紹介し、田人の輪を広げよう！といった企画です。今回は吉川ことよっしーの取材回です！前回の11月号から6か月の時を経て、ようやく復活です。

今回の取材を受けてくださった緑川平寿さんには大変お待たせしてしまい、申し訳ありませんでした！

平寿さんは父親の代から続く林業の仕事で息子の平隆さんと一緒に続けています。奥さんの多賀子さんも姑さんに教わったこんにゃくづくりを今日まで続けており、直接注文もくるほどファンが多い、おいしいこんにゃくを作っています。

取材の中で最も驚いたのは、平寿さんは林業家としての取り組みと田人こんにゃくが評価され、あの「天皇杯」を受賞されたということです！高校サッカーで有名な天皇杯ですが、実は農林水産部門もあり、平寿さんは林業部門での受賞しました。平寿さんと多賀子さんは皇居に招待され、昭和天皇皇后陛下に林業家としての活動の説明し、田人こんにゃくを召し上がっていただきました。こんな近くに天皇に拝謁された方がいたとは夢にも思いませんでした・・・！

また、国はCO2吸収率の下がる樹齢50〜60年が経過した木は全伐し、植樹してほしいという方針がありますが、平寿さんは「伐採後の根っこが腐るまで5〜10年。対して全伐した後植えた苗木がしっかりと根を張るのに5〜10年ではきかない。この期間に大雨や地震が起こった時、土砂崩れの危険が大きくなる」と警鐘を鳴らしていました。中山間に住ま

う私たちにとっては山の有り方は命に関わりません。平寿さんは「山や木は経済の一部だけでなく、もっと広域的な機能を持っている。故に、山に住むならだれもが、それぞれの視点で山の事を考えられるはずなんだ。」と楽しそうに、それでいて真剣な眼差しで語ってくださいました。

平寿さんのお話は、専門家としての説得力と、山と共に生きる一人の人間としての実感が込められており、関心するばかりでした。本当に、ありがとうございました！



お土産に多賀子さんから頂いた田人こんにゃくはお刺身にしておいしくいただきました。ありがとうございました！

HITO-TABI ひとたび通信

6月営業日について
水曜日～土曜日11時～15時まで